

御岳昇仙峡地域は ぶどうや桃の栽培が盛んな甲府盆地の北方に位置し 甲府市と盆地の一部が地域の南西部と南東部に含まれる。 そのほかは関東山地南西部の山岳地域に連なりかなりの部分が特別名勝の御岳昇仙峡を含む秩父多摩国立公園内にある。 また日本式双晶の水晶を産出したことなどで有名な乙女鉱山も本地域に含まれている。

本地域は 地質学上はフォッサマグナのやや東側に位置し 西南日本外帯の北東への延長上にあつて四万十帯に属する地域でもある。

山岳地域の大部分は 新第三紀以降の深成岩類と火山岩類とからなり このほかに白亜紀と推定される四万十累層群の小分布が見られる。

四万十累層群は頁岩・砂岩を主とし 深成岩類に貫かれて断片的に分布するが 構造はほぼ一定しており 全体に西北西-東南東の走向で北に傾斜している。

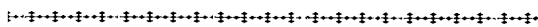
深成岩類は 甲府盆地を取り巻くように発達する甲府深成岩体の一部で 本地域では貫入時期を異にする3岩体(貫入順に甲府花崗岩体 川浦複合岩体及び小鳥花崗閃緑岩)に大別される。 それぞれ新第三紀のより若い火山岩に直接覆われており 本地域が新第三紀以後顕著な隆起・剝削の場にあつたことが読み取れる。

本地域に噴出した火山岩類は 中新世後期から更新世前期にかけて時代の異なる4つのグループ(噴出順に太良ヶ峠火山岩 小楯山火山岩 水ヶ森火山岩及び黒富士火山と周辺の小火山群)に大別され それぞれに特徴のある火山活動が認められる。

なかでも小楯山火山岩は 主に溶結した酸性の溶結凝灰岩からなり 小鳥花崗閃緑岩と共に東山梨火山深成複合岩体を形成している。

また黒富士火山とその周辺の小火山は 近隣のフォッサマグナの火山とは違って いずれもデイサイト質の火砕流の流出とそれに引き続く溶岩円頂丘の噴出までを ひとつの活動パターンとしており 最大規模の黒富士火山だけは 最後に安山岩質の小型成層火山を山腹に形成して活動を終わっている。

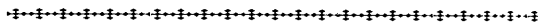
現在これらの火山岩地域の周辺には幾つかの温泉地が知られているが 本地域では湯村温泉等数か所が利用されている。 火山岩類の一部は片山石 山崎石 また深成岩類の一部は塩山



5万分の1地質図幅の新刊

御 岳 昇 仙 峡
MITAKE-SHŌSENKYŌ

5万分の1地質図幅地域地質研究報告



著 者 三村弘二・加藤祐三・片田正人
発 行 工業技術院 地質調査所
取 扱 先 東京地学協会 (03)261-0809 262-1401
そのほか全国主要書店
販売価格 2,750円

みかげ 甲州みかげなどと呼ばれ 良好な石材として用いられる。 また乙女鉱山は現在県下第1位の珪石鉱山として稼行中である。

地 質 ニ ュ ー ス	第359号	7月号
	定価 ¥ 980	〒 実 費
昭和59年7月1日	発 行	
編 集	工業技術院地質調査所	
発 行人	林 久 雄	
発 行 所	株式会社 実業公報社	
印 刷	〒102	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03)265-0951(代表)	
	振替口座 東京1-32466	
総発売元	株式会社 実業公報社	
	出版事業部	